取扱説明書

品番：78595

NANOⅡ（ナノツー） ギアポジションインジケーター GEAR

■ご使用前に必ずご確認ください■

このたびは、デイトナ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●「保証書」は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、取扱説明書と共に大切に保管してください。

■ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。取扱説明書内の注意事項は使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
■商品の保証については保証書の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。
※取扱説明書内の注意事項を守らずに本商品を使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましても、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■安全上のご注意■

要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

●本商品は運転に支障がないように確実に取り付けてください。身体や生命に危害を及ぼす事故を招く恐れがあります。
●使用中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止して車両を安全な場所に停車させ、お買い求めの販売店や弊社にご連絡ください。
●配線は結束バンド等でフレームにしっかりと固定してください。その際、ハンドル操作に支障がないよう確認しながら取り付けてください。また組み付け後は配線等を定期的に点検してください。点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となる場合があります。
●走行中は安全を第一に前方不注意にならないようにご使用ください。また、本商品は取り付け角度や天候の状況によってメーターが見えにくくなる場合があります。走行中に見えにくい場合でも非常に危険ですのでメーターを注視しないでください。
●本商品を公道で使用する場合は道路交通法を遵守して安全に運転してください。

●取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行なってください。また使用しない配線は必ず絶縁対策を行なってください。取り付け方法を誤ると、ショートや感電の危険や車両火災の原因となります。

要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

●この商品は直流 12V 専用です。バッテリーレス車両、及び 6V 車両、交流電装車両への取り付けはできません。
●作業を行う場合は、濡れた手での作業をしないでください。濡れた手で作業をした場合感電する可能性があり、たいへん危険です。
●本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●本体をエンジン周りなどの高温になる場所に設置しないでください。ケースが変形したり、故障の原因となります。
●①メーター本体を⑥メーター固定用ブラケットに貼り付ける際に液晶面を強く押さないでください。液晶が割れる恐れがあります。液晶以外のふちの部分を押さえて貼り付けてください。
●本体にガソリンやブレーキフルードが掛からないよう取り付けしてください。また、その他のケミカルも使用しないでください。本体が変色する場合があります。

●本商品の分解や改造等は行なわないでください。防水性能を損ない火災や怪我、感電や故障の原因となります。分解や改造をされた場合、保証の対象外となります。予めご了承ください。

■安全上のご注意■

●イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。
●本商品は取り付けに⑫結線コネクターを使用します。正しく接続できていない場合、正常に機能しなかったり、場合によって本商品や車両の破損につながる恐れがあります。取り付け時には配線場所の確認、通電の確認を行ってください。
●本体は純正メーターの視認を邪魔しない位置で、運転に支障が無いように取り付けてください。

●本商品はＩＰＸ６相当の防水性能を備えておりますが、高圧洗浄器等の直接洗浄は行なわないでください。保護等級条件を超える水圧を受けた場合は内部に水が浸入する場合があります。
（ＩＰＸ６・・・あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない）

●組み付け作業には車体のサービスマニュアルと専門の知識が必要です。ご購入店またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
●取り付けは確実に行ってください。また、走行中ブラケットのネジ部等が緩まないように確実に締め付けてください。取り付け後、約１００ｋｍ走行しましたら各部のネジ部の増し締めを行ってください。その後は約５００ｋｍ毎必ず点検し、同様の増し締めを行ってください。
●エンジン周辺等、高温になる場所には装着しないでください。熱で内部電子部品が破損する恐れがあります。耐熱温度は約 60℃です。
●この商品は初期設定を行う際、スタンド等で車体を上げた状態でエンジンを始動させタイヤに動力をつなぐ作業がございます。作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車体が倒れたり、タイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、２人以上で作業を行ってください。
●本商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合があります。また文中に紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。

■取り付け条件■

●本商品は、電気式スピードメーターを純正採用している車両専用品です。機械式スピードメーターを採用している車両（メーターギア&ケーブルを使用する車両）には取り付け出来ません。
※機械式スピードメーターから変換アダプター等を使用して取り付けるとスピードメーターの信号をうまく認識できず、初期設定が完了しません。

●その他、以下の条件に当てはまる車両では正常に動作しません。
・弱っているバッテリーを使用している場合。
※アイドリング時の電圧が安定して直流 9V 以上ないと正しく起動しません。
・バッテリーレス及び 6V バッテリー車。※12V 電装にコンバートしたモデルも含む。
・交流 12V 車。※APE100/50（バッテリーレス車）、XR100M/50M、モンキーR/RT/BAJA など。
・ポイント点火車。
・点火信号 , 車速信号にノイズが多い場合や波形に乱れが多い車両。
・車種固有の専用回路が採用されているなど、純正電気式スピードメーターの車速センサーから 0V-5V 交互パルス信号をピックアップできない場合。
※ 例）シャドウ系全モデルは純正電気式スピードメーター車ですが、0V-5V-12V という独自のパルス信号が採用されているため、本商品を使用できません。
・ニュートラル信号がない車両。（レーサー等）

初期設定について
本商品は、車体にそのまま装着しただけでは正常に作動しません。車両に取り付け後、全てのギアの設定を入力して使用可能となります。取扱説明書の各種初期設定で入力を行なってからご使用ください。

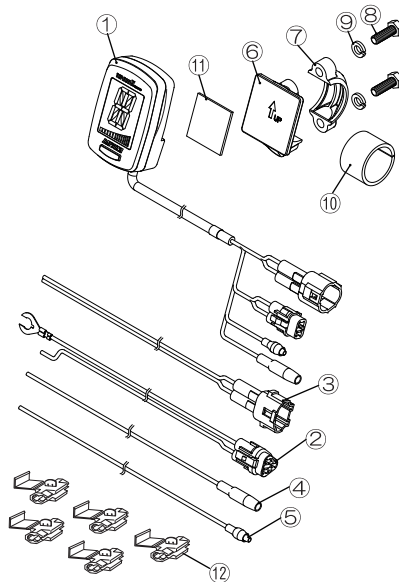
※オートバイ専用品ですが、汎用品のため車体の仕様によって取付できない場合もございます。予めご了承ください。

D1400-GEAR-JP-001_2013/10/29

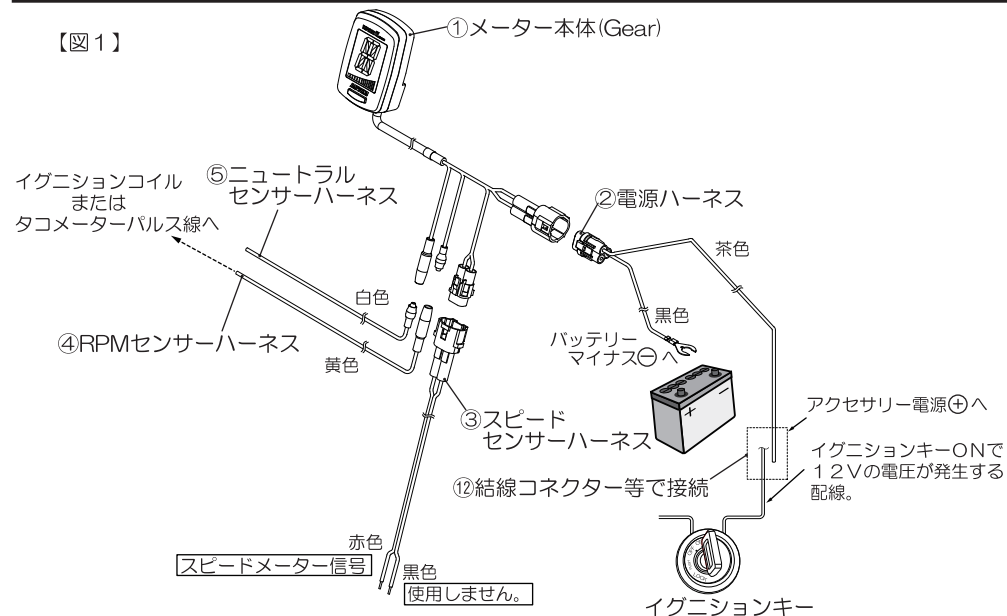
■使用上のご注意■

●本商品は夏場の炎天下のもとでご使用されると、液晶パネルが黒くなる場合があります。
これは使用している液晶パネルの許容温度を超えると起こる現象で、メーター本体の温度を下げる事で解消されます。これは商品の仕様であり、商品不良ではありませんので予めご了承ください。
●出荷時、液晶面に保護フィルムが貼ってあります。このフィルムをはがす際に液晶面にスジのようなものが入りますが異常ではありません。しばらく放置すればこのスジはなくなります。
●本商品は計測値に ± の公差があります。同商品と比較した場合、表示の切り替えタイミング等が全く同じにはならず、表示が異なる場合があります。予めご了承ください。
●本商品は高出力のＨＩＤや電装部品などを同時装着した場合、急激な電圧降下やノイズの影響により正常に動作しない場合があります。その他電装品の配線とは極力離して設置してください。
●液晶の性質上、一定の角度を超えると表示が見えにくくなります。角度を調節して見えやすい角度で取り付けを行ってください。
●走行中、クラッチを握ると入っているギアとは違うギアを表示しますが故障ではありません。

構成部品

NO	パーツ名	サイズ（mm）	数量
①	メーター本体		1
②	電源ハーネス	1200mm	1
③	スピードセンサーハーネス	500mm	1
④	ＲＰＭセンサーハーネス（黄色）	700mm	1
⑤	ニュートラルセンサーハーネス（白色）	700mm	1
⑥	メーター固定用ブラケット（上）		1
⑦	メーター固定用ブラケット（下）		1
⑧	ブラケット用ボルト		2
⑨	ワッシャー		2
⑩	ラバーバンド（φ22.2ハンドル用）		1
⑪	両面テープ		1
⑫	結線コネクター		5

商品仕様

■作動電圧：直流９～16V
■寸法：H60×W40×D17.5mm
■表示レンジ：ニュートラル（N）、１～８速
■ＴＯＰギア設定：４／５／６／７／８速（任意設定）
■バーグラフによる回転数警告（任意設定）
■消費電流：約 20mA
■液晶：白色ＬＥＤバックライト

■配線図■

参考配線色

配線色	茶色線	黒色線	白色線	赤色線	黄色線
接続場所	アクセサリー電源⊕	バッテリーマイナス⊖	ニュートラルスイッチ	スピードメーター信号	タコメーター信号
HONDA	黒/茶 or 桃/青	緑	若葉/赤	桃/緑	黄/緑 or 黄/青
YAMAHA	赤/白 or 薄茶	黒 or 黒/白	空 or 空/白	白/黄 or 桃	橙/緑 or 黄/黒
SUZUKI	橙/緑	黒/白	青/黒	桃	黄/青 or 黒/黄
KAWASAKI	茶/白	黒/黄	若葉	桃 or 桃/青	赤/黄 or 青/白

※参考配線色は全ての車両に適合するとは限りません。仕向地や年式によって異なる場合もありますので必ず各車両のサービスマニュアルでご確認ください。

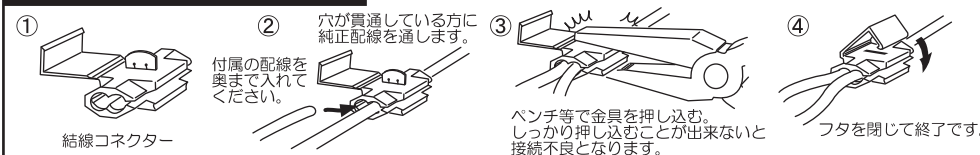
■取付方法■

●商品の取り付けには車体のサービスマニュアルと専門知識及び技術が必要です。ご購入店またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
●取り付け作業前に、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ハーネスの結線中にショートすることがあり、感電の危険ばかりか車両火災の原因にもなりかねますので必ず行ってください。
●作業を始める前に①メーター本体を配置したい場所に仮置きして配線の長さを確認します。

②電源ハーネスの取り付け

▼車体のアクセサリー電源（イグニションキーＯＮで１２Ｖを発生する配線）に②電源ハーネスの茶色線を付属の⑫結線コネクターを使用して接続します。【図 1】（結線コネクター使用法は下図参照）
▼バッテリーのマイナス側に②電源ハーネスの黒色線（クワ型端子付）を接続します。

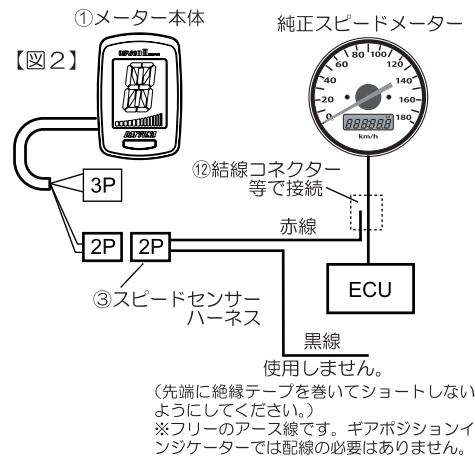
結線コネクターの使用方法

D1400-GEAR-JP-002_2013/10/29

■取付方法■　～続き1

③スピードセンサーハーネスの取り付け

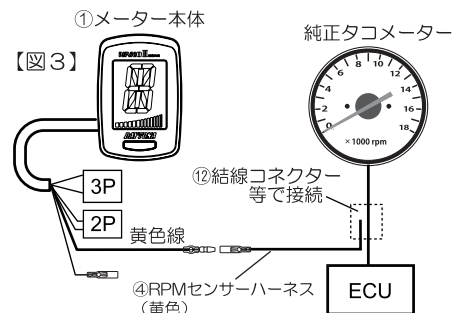
▼③スピードセンサーハーネスの赤色線を車体側の純正スピードメーターからECUにつながる配線に⑫結線コネクターを使用して取り付けます。【図2】
黒色線は使用しませんので末端を絶縁処理して邪魔にならないようにまとめてください。
▼接続が済んだらHID等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の2Pコネクターに接続してください。

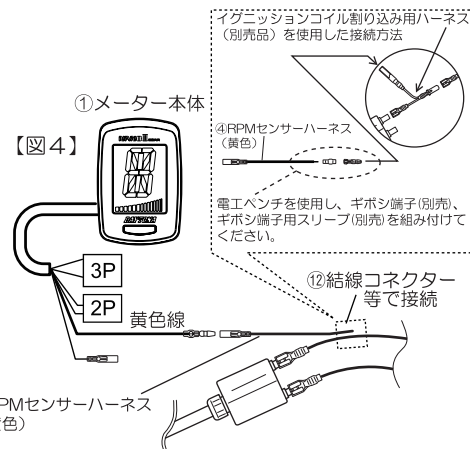
【図2】

①メーター本体
純正スピードメーター
3P
2P
2P
⑫結線コネクター等で接続
赤線
ECU
③スピードセンサーハーネス
黒線
使用しません。
（先端に絶縁テープを巻いてショートしないようにしてください。）
※フリーのアース線です。ギアポジションインジケーターでは配線の必要はありません。

④RPMセンサーハーネス（黄色）の取り付け

※2通りの取り付け方法がありますが点火ノイズの影響を受けにくいECU（エンジンコントロールユニット）への接続をお勧めします。

●電気式タコメーター配線（ECU）から信号をとる場合【図3】
▼④RPMセンサーハーネス（黄色）を車体側の純正タコメーターからECU（エンジンコントロールユニット）につながる配線に⑫結線コネクターを使用して取り付けます。
▼接続が済んだらHID等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の黄色線ギボシ端子（オス）に接続してください。

【図3】

※ECUへの接続場所は車両毎で異なります。
車体のサービスマニュアルを参照し取付してください。

●イグニションコイルから信号をとる場合【図4】
▼④RPMセンサーハーネス（黄色）をイグニションコイルの1次側（＋側）に⑫結線コネクターを使用して取り付けます。（別売のイグニションコイル割り込みハーネスを使用すると純正配線を加工しないで取り付けることができます。この場合には別途、ギボシ端子、ギボシ端子用スリーブが必要になります。）
▼接続が済んだらHID等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の黄色線ギボシ端子（オス）に接続してください。

別売品

・イグニッションコイル割り込み用ハーネス　品番：64230　¥1,000(税抜き)
・ギボシ端子セット（CA/CB104型　5個入）品番：61937　¥450(税抜き)

【図4】

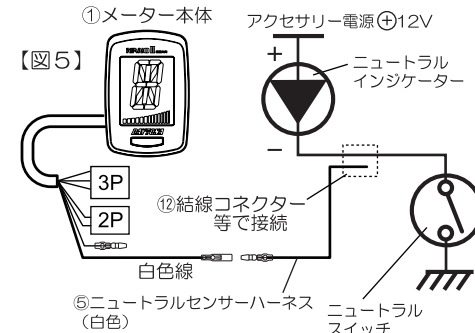
①メーター本体
イグニッションコイル割り込み用ハーネス（別売品）を使用した接続方法
④RPMセンサーハーネス（黄色）
電工ペンチを使用し、ギボシ端子(別売)、ギボシ端子用スリーブ(別売)を組み付けてください。
3P
2P
黄色線
⑫結線コネクター等で接続
④RPMセンサーハーネス（黄色）

■取付方法■　～続き2

⑤ニュートラルセンサーハーネス（白色）の取り付け

▼⑤ニュートラルセンサーハーネス（白色）を車体のニュートラルの信号線に⑫結線コネクターを使用して取り付けます。【図5】
※ニュートラルの信号線に取り付ける場合、ニュートラルランプのプラス側ではなく、マイナス側に取り付けるようにしてください。
▼接続が済んだらHID等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の白色線ギボシ端子（メス）に接続してください。

【図5】

①メーター本体
アクセサリー電源⊕12V
ニュートラルインジケーター
3P
2P
⑫結線コネクター等で接続
白色線
⑤ニュートラルセンサーハーネス（白色）
ニュートラルスイッチ

⑥⑦メーター固定用ブラケットの取り付け

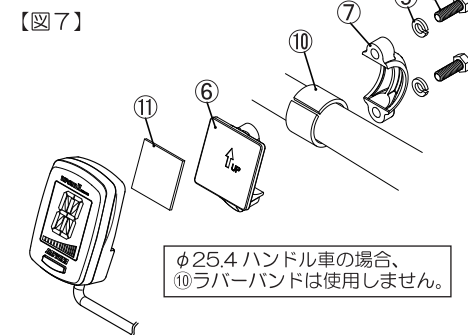
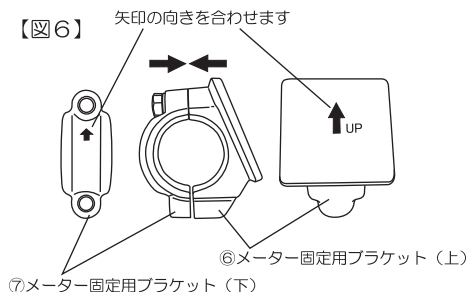
▼ハンドルバーのメーターを固定したい場所に⑩ラバーバンドを巻きつけて、⑥⑦のメーター固定用ブラケット（上下）の矢印の向きを合わせてハンドルバーに挟み、矢印の指している方から先に⑧ブラケット用ボルトと⑨ワッシャーで固定します。固定場所にあわせてレンチやドライバーを使用してブラケットが回らないように固定してください。純正メーターまわりの見やすい位置に取り付けてください。【図6,7】
▼ブラケットの位置が決まったら、各配線の取り付けが完了するまで①メーター本体を⑥メーター固定用ブラケット（上）に仮留めしてください。

※上記はφ22.2 ハンドル車に取り付けるための説明文となります。φ25.4 ハンドル車に取り付ける場合は、⑩ラバーバンドを使用しないで取り付けてください。

【図6】

矢印の向きを合わせます
UP
⑥メーター固定用ブラケット（上）
⑦メーター固定用ブラケット（下）

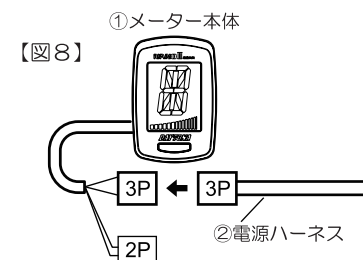
【図7】

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑥
φ25.4 ハンドル車の場合、⑩ラバーバンドは使用しません。

①メーター本体の取り付け

▼ブラケットの位置が決まったら、⑪両面テープを使用して①メーター本体を⑥メーター固定用ブラケットに固定します。固定したら①メーター本体と②電源ハーネスの3極コネクタを接続し、配線が車体等に干渉しないように配線の位置を確認します。【図7,8】

▼配線の取り回しが走行に支障ないか確認します。
車両運転中に、配線が引っ張られたり、部品の隙間に配線を挟み込んで断線したりしないよう、無理がかからない位置へ慎重に固定してください。

【図8】

D1400-GEAR-JP-003_2013/10/29

■各種初期設定■

⚠注意

●この商品は初期設定を行う際、スタンド等で車体を上げた状態でエンジンを始動し、リアタイヤを回転させる必要があります。各種設定はセンタースタンド、またはレーシングスタンドを使用して十分に安全確認を行ってから行ってください。作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車体が倒れたり、タイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、２人以上で作業を行ってください。
●設定中はエンジンに走行風が当たらないため、エンジンにかなりの負担がかかります。エンジンに負担をかけないよう短時間で作業を終えるか、エンジンを冷却しながら作業を行ってください。

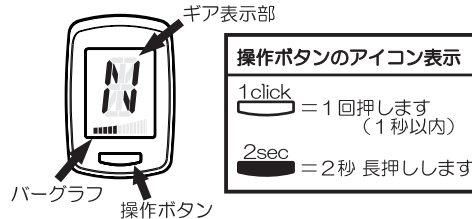
ギアポジション表示の初期設定

●車体をセンタースタンドまたはレーシングスタンドを使用してリアタイヤを浮かせます。
（タイヤが回転しても接地しないように、地面とのクリアランスを十分にとってください。設定中は、スタンドが外れないように十分に注意してください。）

ワンポイント ＴＯＰギアの登録からギアポジションの登録は一連の流れになります。
作業を開始する前に、事前に下記項目を一読しておくと設定がスムーズに行えます。

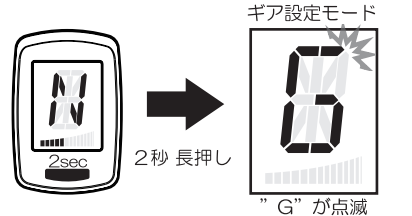
▼車両のイグニションキーをＯＮにして①メーター本体を起動します。ギアがニュートラルになっている場合にはギア表示部に ”N” が表示されます。
”N” が表示されない場合は⑤ニュートラルセンサーハーネス（白色）の接続を確認してください。

▼”N” 表示を確認したらエンジンを始動します。

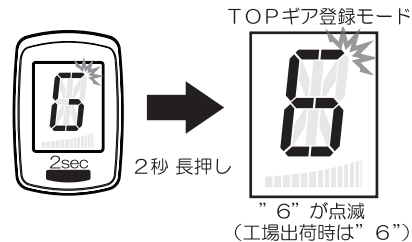
▼エンジン始動後、バーグラフがエンジン回転にあわせて表示します。バーグラフ表示しない場合には、④ＲＰＭセンサーハーネス（黄色）の接続を確認してください。

ＴＯＰギアの登録

▼本体のボタンを２秒長押ししてギア設定モードに入ります。ギア設定モードに入るとギア表示部に” G” が点滅表示されます。

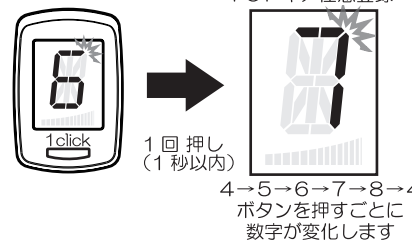
ギア設定モード

” G” が点滅

▼“G” が表示されたら再度ボタンを２秒長押ししてＴＯＰギア登録モードに移ります。ＴＯＰギア登録モードに入るとギア表示部に” 6” が点滅表示されます。
（” 6” は工場出荷時です。２回目以降の登録時は前回登録した数字（ＴＯＰギア）を表示します。）

ＴＯＰギア登録モード

” 6” が点滅
（工場出荷時は” 6”）

▼数字が表示（工場出荷時は” 6”）されたらボタンを数回押して（１ 回１秒以内）車両のＴＯＰギアに合わせます。（例 .4段変速→” 4” を表示）

ＴＯＰギア任意登録

4→5→6→7→8→4
ボタンを押すごとに
数字が変化します

引き続き、右頁のギアポジションの登録に移ります。
そのまま右項のギアポジションの登録へ進んでください。

■各種設初期定■　～続き1

ギアポジションの登録　（ＴＯＰギア５速の場合）

▼本体のボタンを２秒長押ししてギアポジションの登録モードに入ります。ギア設定モードに入るとギア表示部に” 1” が点滅表示されます。
“1” が表示されたらシフトペダルを操作し、車体のギアを “**１速**” に入れてください。そのまま回転数を 2500 ～ 3500 回転で維持します。

ギアポジション登録モード

ＴＯＰギアを５速に登録した場合の表示

“1” が点滅したらギアを１速へ

▼１速でのギアポジションを認識すると”－” が点滅表示になりギア情報を本体に登録します。
登録が完了するとギア表示部に” 2” が点滅表示し、次のギアの登録に移ります。
※（”－” 表示中も回転数を 2500 ～ 3500 回転で維持してください。また、車体のギアも変更しないでください。ギア情報が正常登録されません。）

約２秒

１速のギアポジションを登録中

“2” が点滅したらギアを２速へ

▼ギア表示部に” 2” が点滅表示したらシフトペダルを操作し、車体のギアを “**２速**” に入れてください。そのまま回転数を 2500 ～ 3500 回転で維持します。２速でギアポジションを認識すると”－” が点滅表示になり、登録されると” 3” が点滅表示になります。

２速のギアポジションを登録中

“3” が点滅したらギアを３速へ

▼ギア表示部に” 3” が点滅表示したらシフトペダルを操作し、車体のギアを “**３速**” に入れてください。そのまま回転数を 2500 ～ 3500 回転で維持します。３速でギアポジションを認識すると”－” が点滅表示になり、登録されると” 4” が点滅表示になります。

３速のギアポジションを登録中

“4” が点滅したらギアを４速へ

▼ギア表示部に” 4” が点滅表示したらシフトペダルを操作し、車体のギアを “**４速**” に入れてください。そのまま回転数を 2500 ～ 3500 回転で維持します。４速でギアポジションを認識すると”－” が点滅表示になり、登録されると” 5” が点滅表示になります。

約２秒

４速のギアポジションを登録中

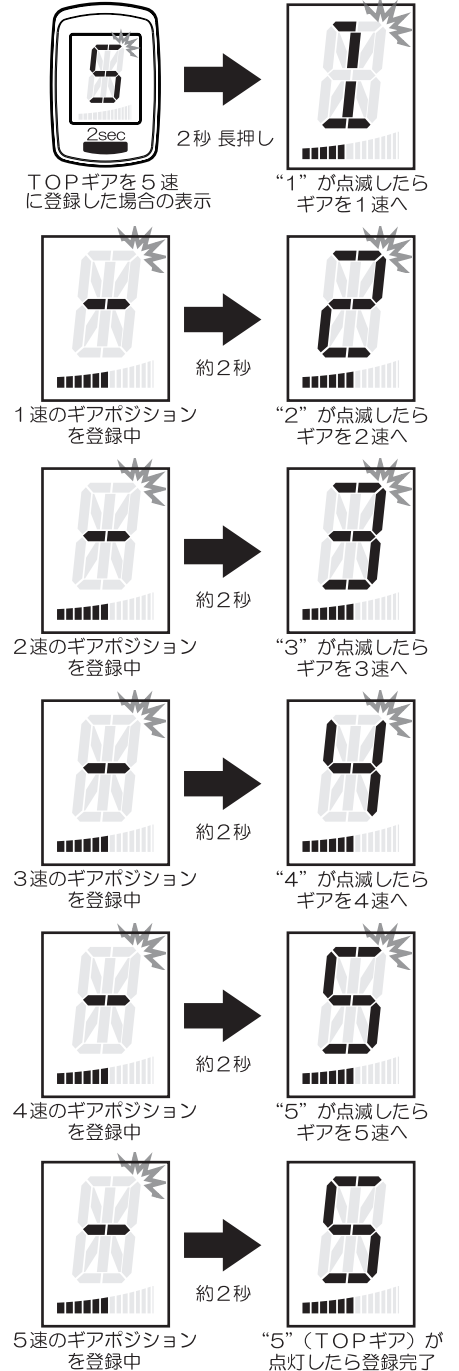
“5” が点滅したらギアを５速へ

▼ギア表示部に” 5” が点滅表示したらシフトペダルを操作し、車体のギアを “**５速**” に入れてください。そのまま回転数を 2500 ～ 3500 回転で維持します。５速でギアポジションを認識すると”－” が点滅表示になり、最終のＴＯＰギアが登録されると” 5”（ＴＯＰギア）が点灯表示になります。

▼ＴＯＰギアまで登録が終わるとギアポジション登録モードが自動終了します。各ギアに入れたときにギア表示が正しいかご確認いただき、登録完了となります。

５速のギアポジションを登録中

“5”（ＴＯＰギア）が点灯したら登録完了

※この商品は、各ギアでの速度とエンジン回転数を読み取り、登録することでギアのポジション表示を行っています。ギア比が近い場合には走行速度によって上下のギアポジションを表示する場合があります。頻繁にギアポジションが切り替わってしまう場合、回転数を少し高めにして再設定しなおしてください。
（３０００～４０００回転）

■各種設初期定■　～続き2

シフトインジケーター（バーグラフ）の登録

●任意に回転数を設定することにより、バーグラフにてシフトアップのタイミングをお知らせします。

▼車両のイグニションキーをONにして①メーター本体を起動します。ギアがニュートラルになっている場合にはギア表示部に ”N” が表示されます。

▼”N” 表示を確認したらエンジンを始動します。

▼エンジン始動後、バーグラフがエンジン回転にあわせて表示します。

▼本体のボタンを２秒長押ししてギア設定モードに入ります。ギア設定モードに入るとギア表示部に”G” が点滅表示されます。

ギア設定モード

”G” が点滅

▼“G” が表示されたら、本体のボタンを１回押す（１秒以内）とシフトインジケーター登録モード（準備）に移ります。シフトインジケーター登録モード（準備）に入るとギア表示部に”F” が点滅表示されます。

”F” が点滅

▼“F” が表示されたら、本体のボタンを２秒長押ししてとシフトインジケーター登録モード（回転設定）に移ります。シフトインジケーター登録モード（回転設定）に入るとバーグラフが点滅表示されます。
バーグラフが点滅表示をしている間にシフトアップしたい回転数にエンジン回転数を合わせます。

シフトインジケーター登録モード（回転設定）

バーグラフ表示

▼シフトアップしたい回転数にエンジン回転数をあわせたら本体のボタンを１回押す（１秒以内）と回転数を記憶します。記憶するとバーグラフ表示が高速点滅に切り替わります。（高速点滅に切り替わった後はエンジン回転を戻しても問題ありません。）

シフトアップしたい回転数にエンジン回転数をあわせる

エンジン回転数を記憶します。

バーグラフ高速点滅

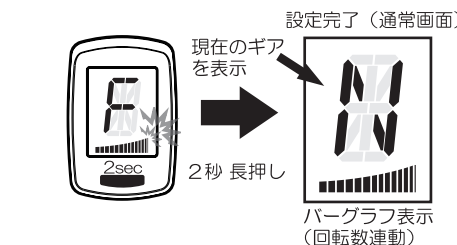
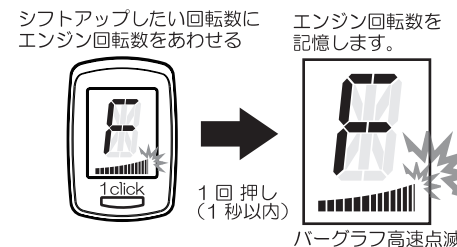
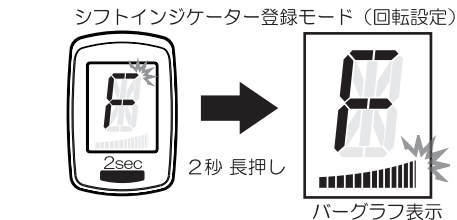
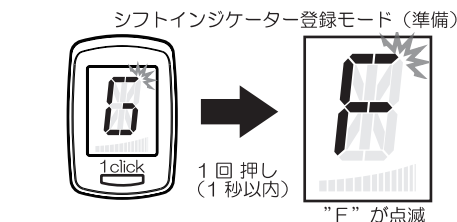
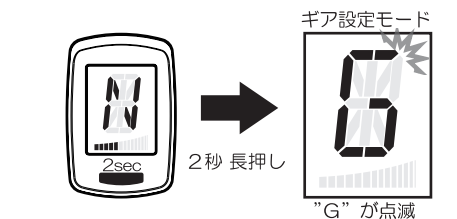
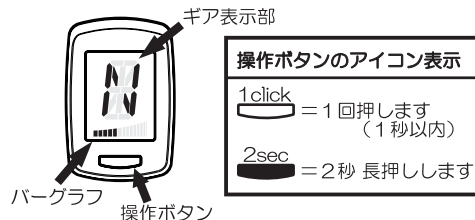
▼バーグラフ表示が高速点滅中に本体のボタンを２秒長押しするとシフトインジケーターが登録され通常画面に戻ります。（ギア表示部は現在のギアを表示、バーグラフはエンジン回転に連動して表示）
シフトインジケーターの登録は以上で終了です。

設定完了（通常画面）

現在のギアを表示

2sec
２秒 長押し

バーグラフ表示（回転数連動）

〇バーグラフ表示について
シフトインジケーターの登録時 3500 回転で設定した場合、3500 回転までエンジンを回すとバーグラフが全点灯します。それ以上エンジン回転数が上がった場合にはバーグラフが全点滅します。

■トラブルシューティング■

・本体の電源が入らない

電源が供給されていない可能性があります。	②電源ハーネスがしっかり接続されているか確認してください。茶色の線に 12V（アクセサリー電源）、黒線にアース（バッテリーのマイナス端子か、ボディアース）が供給されているか確認してください。ボディアースの場合はボディの塗装をしっかりと剥がして接続してください。

・電源を入れると”－” 表示になる

ニュートラル信号が入力できていない可能性があります。	⑤ニュートラルセンサーハーネス（白色）がしっかりと接続されているか確認してください。ニュートラルスイッチのマイナス側（アース側）に接続した場合は常に”N” 表示となります。

・エンジンがかかっていてもバーグラフが動かない。

タコメーター信号が入力できていない可能性があります。	④ＲＰＭセンサーハーネス（黄色）がしっかりと接続されているか確認してください。電気式タコメーター配線（ＥＣＵ）とイグニションコイル１次側信号のどちらも信号が取れる場合には、電気式タコメーター配線（ＥＣＵ）に配線することをお勧めします。

・ギアポジションの登録でギアがうまく認識されない。

スピードメーター信号が入力できていない可能性があります。	③スピードセンサーハーネスがしっかりと接続されているか確認してください。
車体ノイズを拾ってしまい、信号がうまく認識されていない可能性があります。	ひとつのギアで１分以上認識されない場合は、フラグコードやイグニッションコイル等のノイズによりスピードメーター信号、タコメーター信号がうまく読み取れていない可能性があります。プラグコードやイグニションコイル付近を避けて配線を取り回してください。プラグコードやイグニションコイル付近から配線を離せない場合には、配線をアルミテープ等で巻くなどしてノイズ対策を行ってください。

・走行中ギアポジションの表示が安定しない。

ギアポジションの登録が正常に行えていない可能性があります。	各ギアでの速度とエンジン回転数を読み取り、登録することでギアポジション表示を行っています。ギア比が近い場合、走行速度によって上下のギアポジションを表示する場合があります。頻繁にギアポジションが切り替わってしまう場合、回転数を少し高めにして再設定しなおしてください。（3000 ～４０００回転）

・その他

クラッチを握っている際に入っているギア以外の表示がでる。	各ギアでの速度とエンジン回転数を読み取りギアポジションを表示しているため、クラッチを握り動力を切ると、登録したギアポジションデータとの照合が出来なくなるため違うギアを表示してしまったり、停車時には計測できずに”－” 表示となります。クラッチをつなぎ、走行することで正しいギアポジションを表示します。
液晶画面が黒くなり表示が見えなくなる。	直射日光がメーターに当たり続けて本体内部が一定の温度を超えてしまうと液晶が黒化してしまう場合があります。液晶部品の性質上の問題で、商品の仕様となりますので、症状が発生した場合には日陰等でメーターの温度を下げていただくことにより改善します。
機械式スピードメーター車への取り付けはできません。	機械式スピードメーターケーブルを電気式に変換するアダプター等で接続した場合、スピードメーター信号がうまく入力できないためギアポジションの登録が正常に行えません。

〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮4805　0120-60-4955

D1400-GEAR-JP-005_2013/10/29